

いちご栽培管理 (R5.12.)

(有) 丸 富

11月は徐々に冷え込んできたものの、日中は日差しが強く、ハウス内は暑い日が多かった。全般的に干ばつ傾向で暖かった。生育は管理により差が大きく、全体的に遅れた。各地でヨウムシなど害虫が多かった。

着色促進

収穫が始まったら、光合成を促進し、如何に早く着色させて、早く収穫するかを心がける。果実を収穫すれば、また次の果実が着色して次々に収穫できる。

着色促進に**笑顔 1,000 倍 (又は天地の恵み 500 倍)**と**サンミネーラ 10,000 倍**を連続で葉面散布する。

品質の向上

品質(果形、日持ち)や肥大、糖度(味)は開花時に決まるので、開花前後の7~10日で品質が大きく左右する。この期間は硝酸態窒素が残りにくい液肥や発根剤を施用する。

各花房の開花前から**天地の恵み 200 cc/10a**と**酸カル 50 cc/10a**と**サンミネーラ 50 cc/10a**を2、3回灌水する。

害虫対策

近日点では害虫が発生しやすいので、事前に対応する。ハウス周辺からの害虫の侵入を注意する。

防除前に、虫を追い出すよう**バイオアクトTS 50~100 cc/10a**を灌水して、その後に害虫防除を行う。

害虫の繁殖抑制に**バイオアクトTS 2,000~3,000 倍**を防除時に混用する。

肥大促進

近日点で、且つ満月頃は果実が肥大し、着果負担が大きくなる。なり疲れしないよう、樹勢を維持する。

肥大促進に**天地の恵み 300 cc/10a**と**酸カル 50 cc (K-40 250g)/10a**と**サンミネーラ 50 cc/10a**を灌水する。

病害対策

近日点では病害の発生は少ないが、窒素過多に注意しながら株の管理を行う。

細胞壁の強化と病害抵抗力の向上に**酸カル 2,000 倍**と**サンミネーラ 10,000 倍**を防除時に混用する。

追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥 5~7ℓ/10a

時を越えた贈り物(又は天地の恵み) 100~200cc/10a

サンミネーラ 50~100cc/10a

バイオアクトTS 50~70cc/10a

5~7日毎に灌水する場合
※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりに

シリアップ 100~150 cc、天然ミネラル 200~300 cc、海藻のエキス 50~100 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)